

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	高次構造を有するポリケチド系生理活性天然有機化合物の全合成研究
研究代表者	鈴木 啓介（東京工業大学・理学院化学系・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、ポリケチド系有機化合物の構造修飾法、オリゴマー化、糖質化合物とのハイブリッド化の方法論を探り、生理活性を有する複雑なポリケチド系化合物の自在合成法の確立を目的とする。標的としたポリケチド系化合物は天然からはごく微量しか得られず、医薬化やその生理作用解明による生命科学研究のためには有機合成による供給が欠かせない。本研究で提示した標的化合物はいずれも合成難易度が高いが、合成戦略は独自性が高く、研究計画も具体性に富み、応募者の高い研究遂行能力から実現が大いに期待できる。本研究は、当該研究分野をリードする日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>